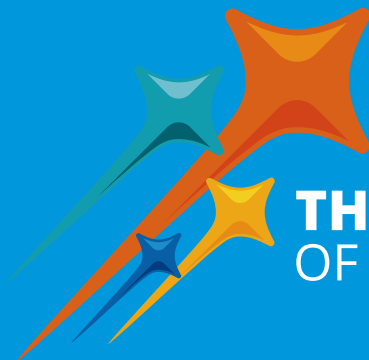


2024-25年度 国際ロータリー第2660地区

# 地区大会

2024.11/29(金)-30(土)



THE MAGIC  
OF ROTARY

ロータリーのマジック

## Day 1

1日目 11月29日(金)

会場 | リーガロイヤルホテル大阪

住所: 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68  
TEL: 06-6448-1121



time	event
14:00~	受付
15:00~15:30	開会式・クラブ表彰
16:00~17:15	分科会Ⅰ 会長・幹事・RAC会長部門
16:00~17:15	分科会Ⅱ
16:00~17:15	分科会Ⅲ
18:00~20:30	晩餐会

## Day 2

2日目 11月30日(土)

会場 | 大阪国際会議場

住所: 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51  
TEL: 06-4803-5535



time	event
12:00~	受付
13:00~16:00	本会議

# ◆ ロータリーのマジック



クラブの活性化、被災地の復旧・復興、ポリオの根絶など、私達ロータリアン・ローターアクターは日々多くの奉仕に取り組んでいます。クラブの未来はどんなもの？私たちの未来はどんなもの？すべては私達にかかっています。明るい未来を描くためには、私達の力が必要です。地区大会に結集し、一緒にロータリーマジックを起こしましょう！

2024-25年度  
国際ロータリー  
第2660地区

ガバナー 大橋秀典

11  
29

FRI

1日目 晩餐会 会場：リーガロイヤルホテル大阪

Day 1

晩餐会 岡本 知高氏 (ソプラニスタ) 18:00~20:30

“奇跡”と称賛されたその歌声……女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手、“ソプラニスタ”岡本知高のコンサート。これまで、国内外のオーケストラとの共演に加え、数多くのスポーツイベントで国歌独唱を披露。2023年12月、CDデビュー20周年を迎え、ますます精力的に活躍中の岡本知高。得意とするクラシックナンバーはもちろん、映画音楽や日本の歌謡曲など幅広いジャンルのプログラムを、自身の面白トークを織り交ぜながらお楽しみいただきます。世界にその名を轟かせるソプラニスタの、珠玉の美声をご堪能ください。

<プロフィール>  
1976年生まれ。高知県宿毛市出身。ソプラニスタ(男性ソプラノ歌手)。世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」である。国立音楽大学を卒業後、フランスのブーランク音楽院を首席で修了。心の深淵に温かく響く唯一無二の歌声は「奇跡の歌声」と称され、個性的なキャラクターとコスチュームも併せてクラシック界にとどまらず各方面からの呼び声も高い。



ソプラニスタ  
岡本知高氏

分科会 I 「日本古典の未来を見に行こう」 講師：福田 安典氏 (日本女子大学教授) 16:00~17:15  
会長・幹事・RAC会長部門

現在、若者を中心に古典離れが唱えられています。高校から古典科目は外せ、との声もよく聞きます。本当に日本の古典はおもしろくなく、未来に残すものではないのでしょうか、との立場からあちこちで発言をしております。今回は、歴史と文化の薫り残る大阪から日本の古典の未来を見ていきたいと思います。

<プロフィール>  
東大阪出身。桃山学院高校卒、大阪大学卒、同大学院文学研究科修了。博士(文学)。甲子園短期大学、愛媛大学を経て現在日本女子大学文学部教授。著書に『平賀源内の研究—大坂篇』、『医学書の中の「文学」』、共著に『古典は本当に必要なのか、否定論者と議論して本気で考えてみた。』、『江戸の実用書 ペット・園芸・くらしの本』など。文科大臣賞、日本古典文学会賞、医薬賞、愛媛出版文化賞などを受賞。



日本女子大学教授  
講師：福田 安典氏

分科会 II 「クラブの未来を見に行こう」 拡大増強委員会 16:00~17:15

地区内の会員数30名以下のクラブの活性化を考える会に！他地区の来場者のご意見も参考に！ファシリテーションを開催して、多方面の意見交換を！

<ゲスト> 白馬ロータリークラブ(ミニ講演)  
他地区からの来場者  
地区内のクラブの代表者  
<ファシリテーター> 四宮ラーニング委員長(パストガバナー)

分科会 III 「バロック音楽の未来を見に行こう」 西村 恵一氏 (ヴァイオリニスト) 16:00~17:15  
西村 恵一(ヴァイオリン)&大阪ヴィヴァルディ合奏団

バロック時代の作曲家ヴィヴァルディの研究・演奏の第一人者西村恵一によるバロック音楽の魅力をたっぷり味わえる分科会です。バロック音楽は300年前の音楽ですが、その演奏スタイルは年々進化しています。21世紀のバロック音楽演奏、そして未来の演奏スタイルはどうなっていくのか！？ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、チェンバロ、フルートの演奏で、ヴィヴァルディの名曲「四季」を演奏し、未来の演奏についても語って頂きます。華麗なるバロック音楽を心ゆくまでお楽しみください。

<プロフィール>  
大阪音楽大学卒業。在学中に前橋汀子氏の特別レッスンを受ける。1991年、当地区GSEメンバーとして渡米(ノースカロライナ)。国内ではヴィヴァルディの研究・演奏の第一人者として知られ、ヴィヴァルディの誕生日に音楽祭「アントキのヴィヴァルディ祭り」を毎年開催し、ヴィヴァルディの日本初演も多数。日本モーツァルトフェスティバル協会代表。松竹芸能(株)所属タレント。大阪音楽大学付属音楽院講師。日本音楽家ユニオン全国本部運営委員。



ヴァイオリニスト  
西村 恵一氏

11  
30  
SAT

2日目 本会議 基調講演 会場：大阪国際会議場

Day 2

基調講演 大阪・関西万博 会場運営プロデューサー 石川 勝氏による基調講演  
「大阪・関西万博の挑戦 万博が描く未来社会」

私たちは何のために万博を開催するのだろうか？万博開幕が目前に迫る中、あらためてこの問いに向き合ってみよう。

万博誘致に成功し、1970年に大阪で開催された万博の成功体験に重ねて歓迎ムード1色に包まれていた当初と比べ、万博を取り巻く雰囲気は大きく変わってきた。開催に向けた様々な課題や制約と対峙する中で、万博開催の意義は存在感を見失い、賛成と反対の対立意見が社会を分断している。万博は国際条約に基づいて開催される催しであり、開催国は国際社会に表明した計画の遂行に責任を負っている。

国内だけで開催の是非を問う議論に時間とエネルギーを費やしては、国際社会における信用の失墜を招きかねない。大阪・関西万博の次の登録博開催地として決定したサウジアラビアのリアド万博は、砂漠を緑化した660ヘクタールの広大な会場において、最先端のテクノロジーやサスティナブルな取り組みを取り入れた計画を打ち出している。

世界に目を転じると、万博はすごい勢いで進化を遂げている。2020年の開催予定を1年延期して開催されたドバイ万博は、これまでの万博の成果を積極的に取り入れて、さらに新たな試みに挑戦し、華々しい成果を挙げた。大阪・関西万博の次の登録博開催地として決定したサウジアラビアのリアド万博は、砂漠を緑化した660ヘクタールの広大な会場において、最先端のテクノロジーやサスティナブルな取り組みを取り入れた計画を打ち出している。

これらの万博に共通しているのは世界共通の課題についての対話と、大規模な開発プロジェクトへの投資促進を主体とした経済外交の舞台となっていることである。

これまでとは全く異なる、まさに「新たな時代の万博」が幕を開けているのである。大阪・関西万博が、こうした万博の進化に取り残されず、成熟した国家が開催する万博としてどのような価値を創出できるかに世界が注目している。

本講演では、こうした観点を主題とし、万博の歴史とドバイ万博の成果を概観すると共に、大阪・関西万博で挑戦する独自の取り組みについて解説する。

<プロフィール>  
株式会社シンク・コミュニケーションズ代表取締役。1963年札幌生まれ。プランナーとして、イベントプロモーション、文化・商業施設開発、コミュニケーションデザイン分野で実績を積み、2004年株式会社シンク・コミュニケーションズ設立。博覧会や展示会を数多く手掛け、2005年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐として基本計画策定に従事、ロボットプロジェクト、愛・地球広場、極小NC入場券をプロデュースした。



大阪・関西万博  
会場運営プロデューサー  
石川 勝氏